| 2024年度　　下期 |
|---|

２０２５年　　１１月　　２１日

# みやぎ生協　福祉活動助成金　助成活動報告書

| | |
|---|---|
| 団体名 | 特定非営利活動法人キンダーフォーラム |
| 代表者名 | 三國陸真 |
| 連絡先<br>TEL：090-2476-2204<br>FAX：03-6336-0983 | E-mail　info@kinderforum.org |

## １、助成事業報告

| | |
|---|---|
| 助成を受けた事業名 | とみくろタウン |
| 事業の目的 | 事業の目的は３つあります。<br>1 つ目はこどもが富谷市・黒川郡の知識を深めるとともに社会や経済の仕組みを体験することです。体験を通じて地域社会への愛着や興味関心の高まり、お金の流れや働く意義への理解の深まりが期待されます。<br>2 つ目は地元企業や自治体との連携の強化です。今回のイベントを成功させることはもちろん、イベント後の持続的な活動に彼らの協力は欠かせません。地元企業と自治体との関係性を構築し、まちの一体感を形成することを目指します。<br>3つ目は多世代交流による地域コミュニティの形成です。イベントにはこどもや保護者・地域住民が参加することが予想されます。彼らが交流し、互いに学びあうことで地域コミュニティが活性化することを期待しています。 |
| 事業の具体的内容 | 「とみくろタウン」は、こどもが仮想のまちの”市民”となり、実際に働くことで疑似通貨を受け取ります。そしてその通貨を元手に商品を購入したりサービスを受けたりする体験型のイベントです。<br>国内外で実施されている「とさっこタウン」や「ミニミュンヘン」を参考に、地元企業や自治体と連携しながら、こどもたちが楽しみながら社会や経済の仕組みを学ぶ場を提供しました。具体的な連携方法として、地元企業にはブースを出展いただき、企業の取組紹介や仕事体験の機会を設けていただきました。各企業に出展いただいた |

| | |
|---|---|
| | ブースは以下の通りです。<br>・株式会社クローバー総研：ドローン操縦体験<br>・株式会社大誠：塗装体験<br>・株式会社美匠工建：ミニチュア庭づくり<br>・株式会社マナライブ：バーチャル工場体験<br>・株式会社夢実堂：野菜のパッキング体験<br>自治体とは富谷市教育委員会・大衡村教育委員会・大郷町教育委員会・大和町教育委員会の後援をいただき、チラシの学校配布にご協力いただきました。 |
| 活動の開始から完了までの流れ | 5月<br>・企画書作成<br><br>6月<br>・教育委員会後援申請<br>・企業への声掛け<br><br>7月<br>・企業への声掛け<br><br>8月<br>・実施日調整<br>・開催場所選定<br>・企業への声掛け<br><br>9月<br>・開催場所予約<br>・協力企業決定・打合せ<br><br>10月<br>・チラシ配布<br>・イベント実施 |
| 活動の成果と教訓 | 会場が富谷市であったため富谷市の子どもたちが半数近くを占めたが、大崎市・仙台市・大和町・大郷町など富谷市外の子どもたちの参加も見られた。参加した子どもの合計人数は52人であった。<br>今回は各企業の仕事体験の機会を子どもたちに提供したが、普段子どもたちが体験できない内容であったことが参加者から高く評価された。アンケートにおいても「地元の企業とコラボの職業体験イベント、とても素晴らしいと思いました。」や「親だけでは体験させられないことをさせてあげられました！親も楽しかったです。ありがとうございました！」というコメントをいただいた。<br>協力いただいた企業の方と振り返りを行ったが、今回の経験を踏まえて来年度の実施内容について社内ですでに話し合っているという話や、商品開発のヒントを得ることができたというコメントをいただくことができ、協力 |

| | |
|---|---|
| | 企業の満足感も高かったと言える。<br>また反省点もある。来場者数と各ブースの体験者数を事前にアンケートで把握し、各企業に共有していたが、当日はほとんどの子が参加を予定していなかったブースでの職業体験を行っていたため、庭づくり体験のキットが足りなくなってしまった。その結果、庭づくり体験を希望していた子が体験できなくなってしまった。今後実施する際には、すべての子どもが各ブースを体験するものと考え、各企業に来場者数分の準備をしてもらうよう声掛けをするべきであると感じた。 |
| 今後の展望など | 上述の通り、今回のイベントは参加者からも協力企業からも高い評価を得ることができたため、来年度も本イベントを実施する予定である。また今回の実績をもとに、より多くの企業へ声掛けを行ってイベント規模の拡大を図り、より多くの子どもたちが多種多様な仕事を体験できるイベントを実施していきたい。 |

**２、助成金使途報告書**

■　収入の部

| 確保した資金内容 | 金額（円） | 備考 |
|---|---|---|
| 福祉活動助成金 | 100,000 | |
| | | |
| | | |
| 合計 | 100,000 | |

■　支出の部

| 費目 | 内容 | 予算額（円） | 実支出額 |
|---|---|---|---|
| 外注費 | チラシデザイン | 5,000 | 5,000 |
| | 当日スタッフ | 30,000 | 23,100 |
| 印刷製本費 | チラシ印刷 | 13,820 | 20,930 |
| 通信運搬費 | チラシ郵送費 | 5,000 | 1,910 |
| | 後援書類郵送費 | 1,000 | 1,540 |
| 借料及び損料 | 富谷武道館大会議室・会議室１・会議室２ | 10,940 | 10,940 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 消耗品 | 郵送用封筒 | 660 | 656 |
| | 食材・飲み物 | 20,000 | 18,610 |
| | ゴミ袋 | 1,000 | 0 |
| | 養生テープ３つ | 1,000 | 879 |
| | ネームホルダー | 3,000 | 2,736 |
| | お菓子包装用紙 | 1,000 | 0 |
| | ブルーシート | 5,000 | 4,788 |
| | コイン | 2,430 | 1,838 |
| | | | |
| 合計 | | 99,850 | 92,927 |

12/18　7,073 円返金済

＊用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

**３、送付必要書類**

① 福祉活動助成金　助成活動報告書
　プリントアウトしたものを１部郵送、データもメールでお送りください。
② 領収書のコピー（郵送）
③ 成果物（活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送）
　＊写真は郵送とメールで送ってください。

| | |
|---|---|
| 13:00-<br><br>13:05 | 開会式<br><br> |
| 13:05-<br><br>16:00 | 仕事体験・景品交換<br>○サラダづくり体験（株式会社夢実堂）<br><br> |

○バーチャル工場見学（株式会社マナライブ）





○塗装体験（株式会社大誠）





○ミニチュア庭造り（株式会社美匠工建）





○ドローン操縦体験（株式会社クローバー総研）





○各ブースでもらったコインを使った購買体験



